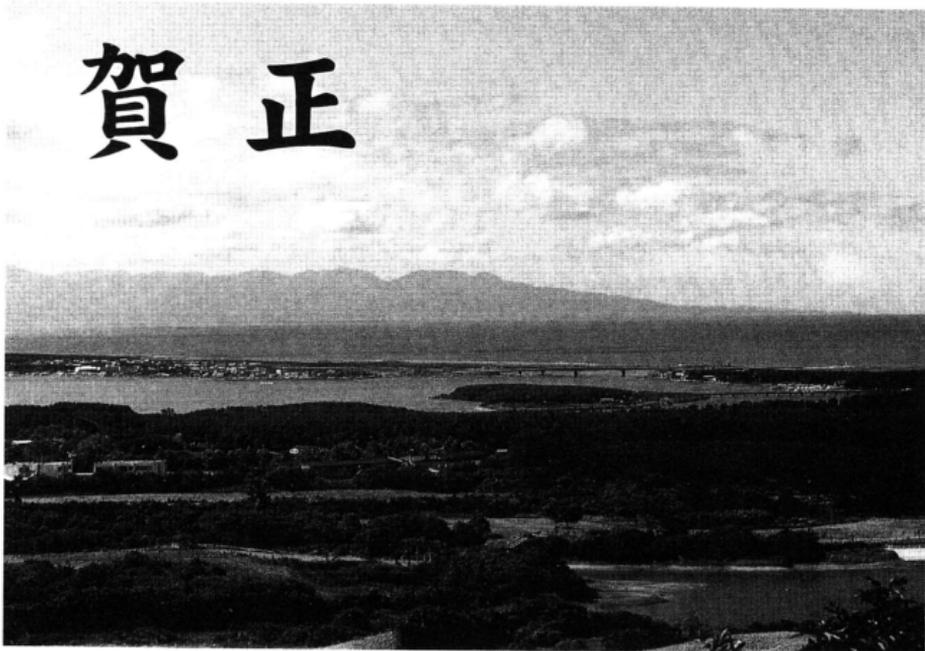




# しらさ

## 賀正



### 市浦村役場

平成十一年元旦

謹んで新春の

御祝詞を申し上げます

|                      |       |        |           |          |        |          |      |      |        |        |        |      |      |      |      |       |      |
|----------------------|-------|--------|-----------|----------|--------|----------|------|------|--------|--------|--------|------|------|------|------|-------|------|
| 津軽北部広域事務<br>組合市浦消防署長 | 市浦診療所 | 十三保育所長 | 相内・脳元保育所長 | 住民福祉課副参事 | 議会事務局長 | 安東の里振興室長 | 教育次長 | 建設課長 | 経済観光課長 | 住民福祉課長 | 企画財政課長 | 総務課長 | 教育課長 | 収入役  | 助役   | 村長    |      |
| 小山内清春                | 林宗輝   | 岩村有泰   | 長利友子      | 大沢ふみ子    | 奈良勝義   | 古川隆徹     | 白川治保 | 鳴海文男 | 中居松正   | 成田義勝   | 三和省勝   | 桑野邦夫 | 松江幸勝 | 木村義光 | 山田勝明 | 工藤誠一郎 | 高松隆三 |



市浦村長 高松隆 三

## 未来を信じ、夢を託しながら歩み続けたい

人が減り、若者が減り、生まれる子どもも数減り、もが減り、

そして山が荒れ、海が荒れ、一人ひとりの心までがバラバラで、なんとなく味気のない世の中になってしまいました。

そんなにはお構いなく地球の営みは一分一秒の狂いもなく新し一秒を運んで来ます。

一九〇〇年代最後の年である一九九九年に期待を込めてオマデトウを申し上げますとともに村民各位のご多幸をお祈り申し上げます。

二十一世紀の夜明けを直前にして、いま一番暗い時にさしか

かつていと言われておりますが、この長くて暗いトンネルを抜け出すためには、いま何をし、これからわが村はどんな村であり続けるべきか、そうした「願いと気概」をこめてつくった「夢を創り、時代を奏する村づくり総合プラン」が今年から実現的なスタートを切ることにするわけであります。

全額の新設保育所や火葬場は三月完成をめざして急ピッチで進められて居り、それに臨元海岸シーサイド事業や鯉ヶ沢・十三線の道路改良事業をはじめ、ほ場整備事業の一期工事も完成したほか、文化観光立県にあたり、十三漆道跡フォーラムや姫神・奥津軽十三湖コサート、十三湖・湖上ウォーク、上ノ国町との友好町村締結十周年記念式典、よさみみバスの運行、イメージコマ・シヤルの放映、それに皇太子殿下の十三漆企画展

(国立歴史民俗博物館で開催のご視察など)躍動感のある村の姿を内外に印象つけた年でもあったと思います。

今年は十三地区の下水道の供用開始や、三徳門を投じた相内太田鏡線の道路改良工事も完成するほか、今泉・実取間のいわゆる十三湖・湖岸道路や、道の駅周辺整備事業も本格着工の予定となっております。

来年四月からスタートする介護保険に備え、在宅福祉サービスの一層の充実を図るため「医療と福祉」を家庭に出前するのと同時に「訪問看護モデル事業」も実施する考えであり、さらに「健康と長寿」という人生の水道のテーマに挑戦するため健康文化都市指定の重点事業である「海水浴療場」の建設にも着手したいと考えて居ります。これは「青い医学」としてフワ

ンス、ドイツで人気が高く美容やダイエットやアトピーの治療のほか、浮遊体験やストレス解消、腰痛、リユーマチにも効果があり、子どもから若者、女性、老人に至るまで多くの方が利用できるものであり、これとあわせて特養ホームの誘致もしており、将来は津軽半島最大の「健康とやすらぎの郷」にしたいと考えて居ります。

また基幹産業である農業の基盤を強固なものとするため、ほ場整備事業の継続と営農団体の組織化を図り、農地の有効利用と一つくる農業から、売る農業、勝ち残れる農業」をめざすと

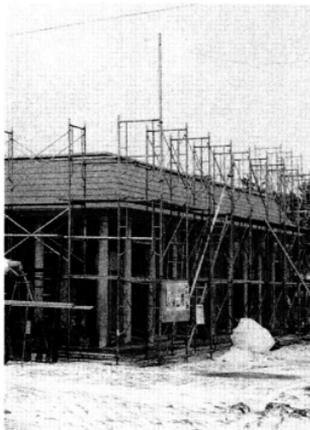
ともに、中世の港湾都市にふさわしい十三漆漁港の建設に努力するほか、前浜の漁港開発可能性調査にも着手する考えであります。

子どもの教育については、子

どもに学ぶ喜びを感じさせ、生きる力を育て、変化に対応していく能力を身に付けさせますが、重要な点としていいますが、複式学級や新人生ゼロという厳しい現実の中で子どもの教育を受ける権利を保障するという視点から小学校複合にも取り組みたいと考えて居ります。

十三漆道跡については港湾施設の発掘に重点を置くとともに中世十三漆道跡(仮称)の開催をするほか、上下水道、ゴミ処理など生活環境の整備充実も図る考えであります。

経済も財政も未曽有の厳しい年明けとなりましたが、未来を信じ、未来を夢を託しながら常にプラス思考で歩み続けたいと思っておりますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつと致します。





市浦村議会議長 浜田 春 士

# 二十一世紀への カウンントダウン

村民の皆さま、明けましておめでとうございます。

ここに、希望の新春を迎えるにあたり、市浦村議会を代表し、皆さまのご多幸とご繁栄を、心からお祈り申し上げます。

不況に折り、都市銀行と大手証券会社の倒産に至り、景気が底を打たないまま、平成十年は暮れました。

しかし、村内の出来事を振り返って見ますと、姫神、奥津軽十三湖コンサート、市浦村上ノ国町友好町村締結十周年記念、バスの運行、実取地区ほ場整備事業の一部完成、農業集落排水処理場の建設、統合保育所建設、斎場の建設等があり、県内外への情報発信という点では、多忙な一年であり、成果も多量でありました。

また、民放各社より放映された、市浦村のイメージコミーシ

ヤルも大きな反響を呼び、好評であったことも、特筆すべき出来事でした。

さて、平成十一年は二十一世紀へ向けて、カウンントダウンの年でもあります。

昨年村民の皆さまの英知を結集して作り上げた、「第四次市浦村長期総合計画」(健康文化と快適な暮らしのまら創造プラン)が、いよいよスタートとなる年でもあります。

議会においても、その中核となる「海洋型健康温泉施設」(タラソテラピーを、昨年十二月にフランスは英仕海峡に面するテルムマラン・サン・マロを視察、実際に体験する機会を得ました。

この体験をもとに、市浦に最も相応しい「海洋型健康温泉施設」の建設を検討してまいりたいと考えております。

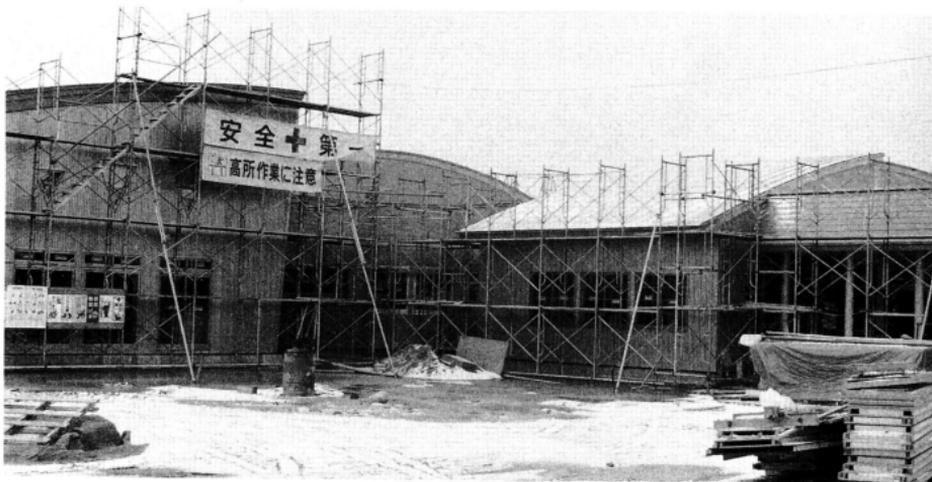
ヨロロバ型の高齢者福祉施

設、一般廃棄物処理施設、リゾート地における環境問題についても、視察をして参りました。その報告については、後日広報しうらの紙面を借りて、ご紹介したいと思っております。

また、十三歳遺跡の発掘継続、特別養護老人ホームの誘致や一般廃棄物処理施設の建設、介護保険制度の導入に伴う、保険、医療、福祉包括ケアシステム構築など、緊急かつ速やかに処理すべき案件が、山積しております。

「健康と歴史文化に根ざしたむらづくり」のため、議会も村行政と一体となり、その重要性を再確認し、二十一世紀へ続く新たな市浦村躍進のため、議会活動を一層活性化し、村民の付託に応えたいと思っております。

旧年に倍するご叱責と、ご支援をお願い申し上げます。



▲現在建設中の市浦保育所

1998年

# 市浦村の

# おもなできごと

## 一月

● 新年を祝う会

市浦村コミュニティセンター

● 市浦村連合婦人会創立二十周年記念式典

市浦村コミュニティセンター

● 極寒津軽体験バスツアー（首都圏から十四人乗村）市浦村他

## 二月

● 相内橋開通式

相内橋

● 第一回市浦村生涯学習推進大会

市浦村コミュニティセンター

● 第二回十三湖白鳥まつり

十三湖マリーナ

● ホームヘルパー三級課程研修（二十八人養成）

市浦村コミュニティセンター

● しゅうら和牛生産組合誕生

磯松公民館

## 三月

● 市浦村スポーツ賞授与式

市浦村コミュニティセンター

● 太田保育所最後の卒園式

太田保育所

● 十三湖高原展望台が完成

トーサム「道の駅」

● 市浦村商工会制作による「ふるさと紹介ビデオ」完成



▲村民の生涯学習に対する高い意識が表われていました  
「第1回市浦村生涯学習推進大会」



▲吹雪の中の開通式となりました  
「相内橋開通式より」



▲首都圏から14名が参加し、津軽の冬を体験しました「極寒津軽体験バスツアー」

一九九八年のおもなできごとを写真で振り返ってみたいと思います。そして、二十世紀最後の年となる一九九九年にはどんなできごとが待っているのでしょうか。

## 四月

- 一日ドック実施（総合健診）
- 平成十年度青森県保険・医療・福祉包括ケアシステム推進モデル事業の指定を受ける

海洋センター体育館

## 五月

- 記者クラブとの懇親会（平成十年度つくり方針等記者発表）
- 実取地区水田第一期整備工事が完成

トイサム「道の駅」  
相内実取地区

## 六月

- やまなみバス運行開始記念セレモニー（～八月三十一日まで）
- 市浦村イメージコマージュ放送開始（～三月末まで）

市浦村、蟹田町間

- 第一回村友会議、姫神・奥津軽十三湖コンサート記者発表

県内全域  
市浦村役場

- 市浦村消防団観閲式

- 市浦村消防団災害地視察

- 津軽北部農業協同組合誕生

- ゴミ分別収集始まる

市浦村全域

- 青森県家畜市場で市浦牛が高値を記録

- 中世安藤の里めぐり定期観光バスツアー開始（～八月二十日まで）

- 「中世国際港湾都市十三湊と安藤氏」特別展

- （～八月二十三日まで）

青森市県立郷土館



▲新たな観光名所となりました  
「十三湖高原展望台が完成」



▶地域の方々に惜しまれながらの  
閉所となりました  
「太田保育所最後の卒園式」



▶市浦と蟹田間に初のバスが  
開通しました  
「やまなみバス運行開始  
記念セレモニー」



▶青森県全域に市浦村をアビ  
ルしました「市浦村イメージ  
コマージュ放送開始」



▶年々参加者が増えていま  
す  
「一日ドック」

● 知事とのふれあい談義

市浦村コミュニティセンター

● 脇元海岸ふれあいシーサイド建功記念イベント

脇元海岸ふれあいゾーン

● 第二回十三湖・湖上ウォーク

十三湖

● 文化観光立県宣言記念・十三湊遺跡ウォーク

青森市

● 文化観光立県宣言記念・十三湊遺跡現地見学会

市浦村十三

● 友好町村締結十周年記念クルージング

北海道・上ノ国町

● ジュニアリーダー研修会

市浦村コミュニティセンター

## 八月

● '98姫神・奥津軽十三湖コンサート

十三湖特設会場

● 第五十三回市町村対抗青森県民体育大会

弘前市

● (市浦村は総合十二位)

山村広場

● 戦没者追悼式

市浦村コミュニティセンター

● 平成十年度成人式

相内地区

● 夏彩祭「ねぶたまつりと坊様踊り」開催

相内地区

● 十三漁協が漁場管理船「みさご丸」購入

十三地区

## 九月

● 津軽平野ロマンの旅(首都圏から四十人来村)

市浦村他

● (中世国際港湾都市十三湊と安藤氏) 特別展

千葉県国立歴史民俗博物館

● (10月4日まで)

相内地区

● 統合保育所建設工事安全祈願祭

相内地区

● 漁業集落排水施設整備工事安全祈願祭

十三地区

● 十三湖高原駅まつり

道の駅「十三湖高原駅」

● 平成十年度敬老会

市浦村コミュニティセンター

● 「中世国際港湾都市十三湊と安藤氏」特別展皇太子視察

千葉県国立歴史民俗博物館

● ふれあい交流体験学習

北海道・上ノ国町



▲満月のコンサートとなりました  
「'98姫神・奥津軽十三湖コンサート」



▲活発な意見交換が行われました  
「知事とのふれあい談義」



▶今年も多くの参加がありました  
「第一回十三湖・湖上ウォーク」



▶地域を越えて盛り上がりました  
「夏彩祭ねぶたまつりと坊様踊り」



▲脇元海岸が新しく生まれ変わりました  
「脇元海岸ふれあいシーサイド建功記念イベント」

●平成十年度「西北地区太陽の子の集い」市浦村で開催  
海洋センター1体育館

### 十月

- 市浦村火葬場建設工事安全祈願祭
- 実地地区水田第二期整備工事が着工
- テレビ会議システム導入（地域医療の向上をめざす）  
相内露草地区等  
市浦診療所
- 青森県民俗芸能大会に「坊様踊り」が参加  
五所川原市オルテンシア

### 十一月

- 平成十年度市浦村褒賞授与式
- 友好町村締結十周年記念式典・祝賀会  
市浦村あすなろホール
- 第十九回あすを拓くふるさとまつり  
市浦村コミュニティセンター

### 十二月

- 第四回関東地区「ふるさと市浦会」交流会  
東京都品川プリンスホテル
- 「活彩あおもり大祭典」に市浦村から郷土芸能と物産が参加  
東京ドーム  
青森市
- 民生児童委員辞令交付式
- 第二十九回市浦村共同保健医療福祉計画会議  
市浦村コミュニティセンター
- 相内地区下水道整備推進委員会で、排水設備費用の積立を開始  
相内地区



▲海峽を越えた交流が10年をむかえました「友好町村締結10周年記念式典・祝賀会」



▶地域医療のレベルアップをめざします「テレビ会議システム導入」



▶カナダの国際交流コーナーが好評でした（第十九回あすを拓くふるさとまつり）



▲市浦村の味覚をぞんぶんにたのしみました「十三湖高原駅まつり」



▶市浦村の物産が好評でした「活彩あおもり大祭典」

